

オバマ政権、オープン・ガバメント政策の取り組み状況に関する報告書を発表（9月16日）

大統領府は16日、「オバマ政権によるオープン・ガバメント政策への取り組み状況 ～状況報告～（The Obama Administration's Commitment to Open Government: A Status Report）」を発表した。オバマ大統領が最優先政策課題とするオープン・ガバメント政策は、政府の透明性を高めるために米国民への情報公開を積極的に行い民主主義を強化することを目指すものであり、同報告書には、連邦政府歳出情報等これまで機密とされてきた情報を情報公開法に基づいて公開するなど、同政策の実現に向けた取り組みの成果がまとめられている。

なお、本報告書は、

<http://www.whitehouse.gov/sites/default/files/opengov_report.pdf>からダウンロード可能。

The White House, *A Status Report on the Administration's Commitment to Open Government*

<http://www.whitehouse.gov/blog/2011/09/16/status-report-administration-s-commitment-open-government>